

立場 MGMTPOSTGRES_MASTER へのデータベース MGMTPOSTGRES_SLAVE フェールオーバーだけ

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[エラーログ](#)

[解決策](#)

概要

MGMTPOSTGRESS_MASTER のクラスタを形成しないときこの資料に MGMTPOSTGRES_SLAVE を回復方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Linux インターフェイス
- 仮想マシン環境
- postgresql
- ペースメーカー/Corosync 設定システム (PCS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CloudCenter バージョン 4.8.1.1
- MGMTPOSTGRES_SLAVE コンポーネント
- MGMTPOSTGRES_MASTER コンポーネント

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

両方の MGMTPOSTGRES コンポーネントに失敗がある場合、MGMTPOSTGRES_SLAVE はもはや MGMTPOSTGRES_MASTER のクラスタを形成しません。

問題

MGMTPOSTGRES_SLAVE は MGMTPOSTGRES_MASTER のクラスタを形成しません。クラスタを形成するために両方の MGMTPOSTGRES を得るために MGMTPOSTGRES_SLAVE データベースは削除される必要があります。それから、データベースは MGMTPOSTGRES_MASTER から復旧されます。

エラーログ

```
[root@mgmtpostgres_master etc]# pcs status
Cluster name: cliqrdbcluster
Stack: corosync
Current DC: dbmaster (version 1.1.15-11.e174ec8) - partition with quorum

Last updated: Mon Nov 13 19:15:30 2017                Last changed: Mon Nov 13 16:59:51 2017 by
root via crm_attribute on db master

2 nodes and 3 resources configured
Online: [ dbmaster dbslave ]

Full list of resrouces:
  Resrouce Group: VIPGroup
                PGMasterVIP                (ocf::heartbeat:IPaddr2):                Started
dbmaster

Master/Slave Set: mspostgresql [pgsql]
  Masters: [ dbmaster ]
  Stopped: [ dbslave ]

Failed Actions:
* pgsql_start_0 on dbslave 'unknown error' (1): call=11, status=Timed Out, exitreason='none',
  last-rc-change='Mon Nov 13 18:15:25 2017', queued=0ms, exec=60003ms

Daemon Status:
  corosyn: active/disabled
  pacemaker: active/enabled
  pcsd: inactive/disabled
```

解決策

MGMTPOSTGRES がクラスタを形成することができるように MGMTPOSTGRES_SLAVE データベースを復旧することを続行して下さい。

ステップ 1: MGMTPOSTGRES_MASTER では、クラスタが停止するようにして下さい。

```
pcs cluster stop
pcs status
```

呼び出します。 MGMTPOSTGRES_SLAVE では、既存のデータベースを削除して下さい。

```
rm -rf /var/lib/pgsql/9.5/data/*
```

ステップ 3 MGMTPOSTGRES_MASTER では、クラスタを再度開始して下さい。

```
pcs cluster start  
pcs status
```

ステップ 4 MGMTPOSTGRES_SLAVE では、MGMTPOSTGRES_MASTER からデータベースを復旧して下さい。

```
/usr/pgsql-9.5/bin/pg_basebackup -h <MGMTPOSTGRES_MASTER-IP> -D /var/lib/pgsql/9.5/data/ -U  
replication -v -P --xlog-method=stream
```

ステップ 5 MGMTPOSTGRES_SLAVE では、復旧されたデータベースの所有権を変更して下さい。

```
chown postgres:postgres -R /var/lib/pgsql/9.5/data/*
```

ステップ 6 MGMTPOSTGRES_SLAVE では、クラスタを開始して下さい。

```
pcs cluster start  
pcs cluster status
```

ステップ 7 MGMTPOSTGRES_MASTER では、リソースをクリーンアップし、クラスタ ステータスをチェックして下さい。

```
pcs resource cleanup  
pcs cluster status
```

ステップ 8 MGMTPOSTGRES_MASTER では、複製があることを確認して下さい (MGMTPOSTGRES_SLAVE IP の IP 探される)。

```
ps -ef | grep postgr
```